

平成 28 年 4 月 12 日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

## ● 救急体制整備補助金の交付要綱について ●

### ～内容～

総社市救急指定病院施設整備補助金交付要綱を平成 28 年 3 月 25 日に公布し、平成 28 年 4 月 1 日から施行している旨、報告を受けました。

## ● 全国屈指の福祉先駆都市実現に向けた各部会の今年度の取組について ●

### ～内容～

全国屈指の福祉先駆都市を実現するために、各部会における今年度の主な取組について調査するもの。

#### 【高齢者支援部会】

75 歳総活躍社会の実現について、高齢者の就労等に関する意識調査及び受入れ企業側への雇用ニーズ調査を実施し、5 月下旬までに現状分析を行い、各関係機関から構成される協議会を設置し、高齢者雇用のワンストップ窓口への設置につなげ、10 月の事業開始を目指している。

#### 【医療体制部会】

地域完結型医療体制の整備は、市内における回復期や救急医療体制の構築等について、地域医療連携ネットワーク会議等、関係部署や関係機関と相談しながら検討していく。

#### 【発達障がい児支援部会】

総社市特別支援教育推進センターを設置し、相談機能、通級指導教室及び研修機能の 3 本柱で発達障がい児の支援体制の整備を目指す。平成 29 年度の通級指導教室開設に向けて、平成 28 年度は相談機能として、相談員 2 名が学校、幼稚園及び保育所等に出向き教育相談及び巡回相談を実施する。また、研修機能として、携わる教職員等の研修を行っていく。

#### 【待機児童ゼロ部会】

定員 90 名以上の民間保育所の新設及び既設民間保育所の定員増に向けて施設改修を実施する。また、平成 28 年度から開始した地域型保育事業及び幼稚園における預かり保育の拡充について、市民にお知らせをしていく。

～質疑～

問：民間保育所の新設及び既設民間保育所の定員増が、平成 29 年 4 月から実施できた場合、平成 29 年度内は待機児童が発生しないということだが、受入れに余裕はあるのか、それともぎりぎりなのか。

答：あくまで試算だが、平成 29 年 4 月に 90 名の新設及び 30 名の定員増になった場合、余裕があると試算している。

問：4 月から開始した地域型保育事業及び幼稚園における預かり保育の拡充について、まだまだ認識が薄い保護者もいると思うがどうか。

答：幼稚園における預かり保育については、保育所と余り変わらない形態で利用できることを周知していきたい。

● (仮称) 中央公民館常盤第 2 分館について ●

～内容～

建設を予定している(仮称)中央公民館常盤第 2 分館について調査するもの。

～質疑～

問：今年度は用地造成までを計画しているようだが、建物の建設はいつ頃になるのか。

答：来年度、建築の設計費用を予算計上し、基本設計の段階から住民の方の意見を聞きながら一緒に話を進め、建設費については平成 30 年度に予算計上したい。

● 学童保育の待機児童の状況について ●

～内容～

平成 28 年 4 月 1 日現在の待機児童の状況について、また、待機児童解消に向けた今後の取組について調査するもの。

～質疑～

問：待機児童が発生しているところのクラブへの対処策はどうか。

答：空き教室や空き施設等を探しているが、なかなか難しい状況である。待機児童が多くなることを見込まれるところについては、新設も視野に入れて考えなければいけないと思っている。

**問：放課後児童クラブだけでなく、子どもの居場所づくりということで、子どもの放課後教室を実施する考えはないか。**

答：子ども放課後教室は保育という面では不十分、保育と学習とは機能が違うので、どういうふうに組み合わせるか、どれが一番良いのかは地域によっても違うので、いろいろな意見を聞きながら考えていきたい。

**問：放課後児童クラブの指導員が足りないということが、受入れに影響している部分もあると思うが、現況を把握しているか。**

答：放課後児童クラブの支援員、補助員が足りないということで、3月の広報紙で募集している。保育士の登録制度も利用しながらホームページや広報等で募集していきたい。